

豊島区の特性・課題

1. 高密度で多様な居住者が集住する都市的特性

- ・人口密度は、平成 24 年 1 月現在で 205.7 人/ha となり、全国一の人口密度の高さを維持している。
- ・ファミリー世帯が減少し、単身世帯が増加している。また、外国人登録者が増加している。

2. 利便性の高い都市環境

- ・都市計画道路の整備が進展している。また、公共交通機関（JR、私鉄、地下鉄、都電、都バス、民間バス）が区全域をネットワークしている。
- ・池袋副都心には、商業、業務、文化・芸術、情報などの多彩な都市機能が集積している。
- ・アンケートでは、買い物や公共交通の利便性に対する満足度が高い。

3. 少子高齢化の進展

- ・区の人口動態は、20 歳未満の階層が少なくなっているとともに、年々高齢者階層のボリュームが高くなっている。
- ・生産年齢人口（15 歳～64 歳）は、減少傾向が大きくなっている。

4. 緑化や温室効果ガス排出抑制などの環境配慮が課題

- ・豊島区の緑被率や一人あたりの公園面積は、23 区内でも低い水準にある。
- ・アンケートでは、みどりや自然の豊かさに対する満足度が低い。
- ・区内の CO₂ 排出量は、業務・家庭部門が増加している。

5. 地域資源を活かした景観形成が課題

- ・アンケートでは、雑司ヶ谷地区の歴史・文化を感じられる街並みや、目白地区等の落ち着いた街並みへの要望が高いなど、地域によって評価に差異が見られる。

6. 市街地の防災性の向上が課題

- ・地域危険度が高く、老朽化した木造建築物が集積する密集市街地が存在する。
- ・アンケートでは、地震や火災に対する安全性への満足度が低く、震災に関連する項目への取り組み要望が高い。

7. 一部で後退が懸念される都市経済

- ・池袋駅の乗降客数、区内の事業所数が減少傾向にある。
- ・区の一般財源歳入が減少する一方、区が維持保全すべき施設の老朽化が進んでいる。

8. 高まる住民参加意識

- ・アンケートでは、地域のまちづくりに参加したいとの回答が 4 割を超え、さらに、情報提供が必要と考える人を加えると 9 割近くになる。